

●施工パッケージ型積算方式関係 質疑応答集

更新日時：平成27年11月20日

※この質疑応答集では、「施工パッケージ」を「施工P」と表現しています。

福島県土木部技術管理課

No.	質問項目	質問	回答	備考
1	施工P型積算方式の積算単価の単位止めについて	H27施工P型積算方式標準単価表(福島県土木部)のⅢ-2～の積算例では有効数字4桁、5桁目以降切り下げとなっていますが、説明会資料及び施工P単価計算書では1円単位小数点切り捨てとなっている。	Ⅲ-2～の積算例は国土交通省のものをそのまま掲載しています。 したがって、本県での有効数字は説明会資料及び施工P単価計算書のとおり1円単位小数点切り捨てとなります。 ※「H27施工P型積算方式標準単価表(福島県土木部)」に上記を注意書きとして追記しました。(H27.10.9差し替え)	
2	東京単価の端数処理	説明会資料で固化剤の東京単価が12,050円となっている。国土省の端数処理ルールに基づけば12,000円が正ではないか。	福島県でも東京単価は国土省の端数処理ルールを採用しています。したがって説明会資料は誤りで、御指摘の通り12,000円が正しい単価であり、実際の積算では12,000円を使用します。	
3	東京単価の有効桁数	東京単価の端数処理について、単位を変換しているもの有効桁数の考え方は？	有効桁数は刊行物掲載単価(変換前)で判断します。	
20	単位換算が必要な単価の算出方法	刊行物に掲載されている単価を単位換算する場合、どのような手順で行うのか。	下記の手順により行っています。 1.刊行物の掲載単価を換算する(2紙ある場合はそれぞれ換算)。 2.換算後の単価を平均する。 3.東京単価、福島県単価それぞれの端数処理ルールで端数処理を行う。	H27.11.20 追加
4	施工P型積算の福島単価算定について	福島県単価を算定する場合には「設計資材単価決定基準」による端数処理を行うことで良いか(東京単価と端数処理方法が異なっているが良いか)	良いです。	
5	標準単価の根拠	標準単価や機労材構成比の算出根拠は？また、施工P移行に伴い積算価格に変動はあるのか。	標準単価や機労材構成比はこれまでの積算基準(歩掛)と同様、国土交通省が実施している実態調査等で決定されています。	
6	福島単価の端数処理	積算単価の端数処理では、建設物価及び積算資料の資材の平均で1円未満の端数処理がある場合でも計算途中ではそのまま1円未満の数字を使用して計算するのでしょうか。	県の資材単価は建設物価及び積算資料を平均した段階で「設計資材単価決定基準」に基づき端数処理を行います。 なお、端数処理後の県単価を使用して算出される積算単価の計算途中では端数処理は行いません。	
7	土木工事標準積算基準	施工Pへ移行となった積上歩掛は積算基準から削除されるのか。	削除されます。	
8	土木工事標準積算基準	施工Pの条件区分が合わずに使用できない場合など、施工Pへ移行となった積上歩掛平成27年10月1日以降に使用したい場合は、平成26年10月1日の積算基準を使用してよいか。	使用できません。 (施工Pが適用できない場合は見積り等での対応となります)	
9	標準単価	標準単価は被災地用を準用するのか。	被災地用を準用しています。	

●施工パッケージ型積算方式関係 質疑応答集

更新日時：平成27年11月20日

※この質疑応答集では、「施工パッケージ」を「施工P」と表現しています。

福島県土木部技術管理課

No.	質問項目	質問	回答	備考
10	標準単価	標準単価、東京単価の一覧は公表されるのか。	標準単価は公表します。 東京単価は著作権の都合上、公表できません。 「公表図書について」のページ <a href="http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouhyoutosyo.html">http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/kouhyoutosyo.html</a>	
11	標準単価	説明会の資料で今回導入する208パッケージは国交省でH24.25に導入した分となっているが、使用する標準単価、機労材構成比は最新(H27.4版)でよいか。	良いです。	
18	標準単価	岩石補正が適用される場合、機械損料は東京及び福島県の機械損料をそれぞれ補正する必要があるのか。	岩石補正が適用される施工条件の場合、あらかじめ標準単価に補正分が含まれております。 したがって、東京及び福島地区単価を補正する必要はありません。	H27.10.27 追加
19	地区単価	積算対象地区が豪雪地帯の場合の機械損料について、福島県単価に豪雪地帯の機械損料を当てはめて計算すればよいか。	建設機械等損料算定表(福島県土木部)の請負工事機械経費の積算及び運用方針により豪雪地帯の補正の対象となる場合(p.3-1-13参照)は、地区単価に豪雪地帯補正後の機械損料(B地区単価)を適用して計算してください。	H27.10.27 追加
21	東京単価 地区単価	建設機械器具賃貸料金は賃貸期間が1ヵ月以上にわたる場合に適用される35%割引(長期割引)が適用されているのか。	35%割引(長期割引)を適用しています。	H27.11.20 追加
12	積算単価の公表	各地区(A～V)補正後の施工P単価表は公表されるのか。	公表しません。 公表されている単価等を用いて算出してください。	
13	積算条件の公表	閲覧される設計図書で積算条件は確認できるのか。	参考図書として閲覧される金抜き設計書に施工P内訳表が添付されますので、そちらで確認することができます。	
14	施工パッケージ単価計算書	ホームページに掲載されている「施工パッケージ単価計算書」で散在塵芥収集の積算単価を算出すると0になってしまう。	積算単価が1円未満になるようなケースの工種には使用できません。 なお、積算単価が1円未満となる可能性がある工種については、「m2当たり」を「10m2当たり」にするなど、単位を調整しています。	
15	数量総括表	施工Pに対応した、数量総括表は？	改正します。 なお、様式については、以下のページからダウンロードして利用してください。 「共通仕様書(業務委託編)【数量総括表含む】」のページ <a href="http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/shiyousho-itaku.html">http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/shiyousho-itaku.html</a>	

●施工パッケージ型積算方式関係 質疑応答集

更新日時：平成27年11月20日

※この質疑応答集では、「施工パッケージ」を「施工P」と表現しています。

福島県土木部技術管理課

No.	質問項目	質問	回答	備考
16	数量総括表	図面上に記入する数量については、従前どおりにレベル4(細別)まで記入するのか。	従前どおりです。 なお、算出する数量は、土木設計マニュアル(数量算出編)を参考にしてください。 「所管図書一覧」のページ <a href="http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/tosyoitiran.html">http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/tosyoitiran.html</a>	
17	補助入力システム	施工Pに対応した補助入力システムの「ツリー情報」、「施工条件」は？	福島県土木部技術管理課のホームページに掲載しております。 「電算業務等(土木工事の積算データ入力)の受注者の皆さんへ」のページ <a href="http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/densan.html">http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/densan.html</a>	